

キッコーマン健保組合について(2月17日開催)

2月17日に開催された健保組合会で、平成29年度予算と保健事業などが承認されました。

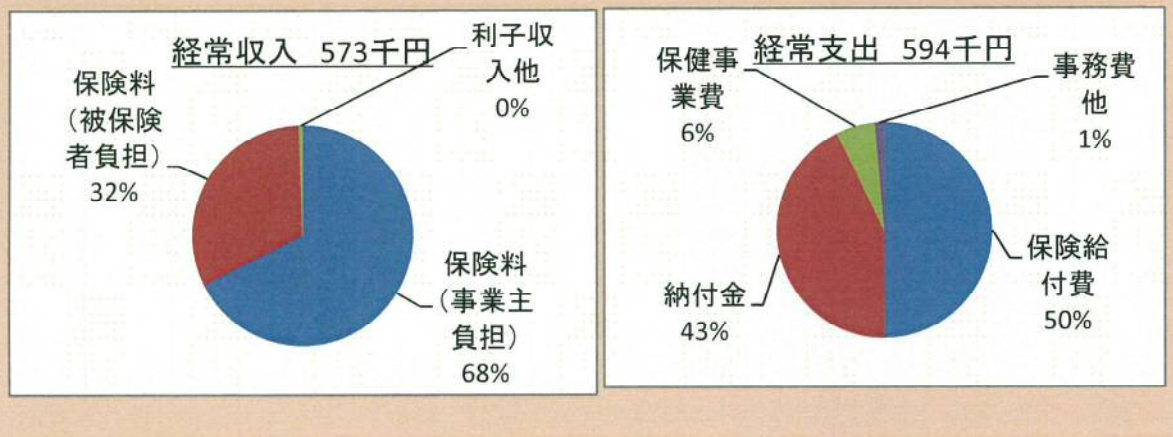
1) 健康保険料(一般保険料)および介護保険料の料率は前年を維持

健康保険料率(一般保険料率):8.4%(うち、被保険者負担2.7%)
 介護保険料率:1.4%(うち、被保険者負担0.7%)

2) 平成29年度一般収支予算総額は21億4942万円

経常収支は**5千9百万円の赤字予算**です。(H28年度は約8千万円経常黒字見込)
 経常赤字の健保組合が多い中、当健保は経常黒字を続けておりましたが、来年度は経常赤字となります。その原因は、国内の高齢者医療費を支えるための納付金が増額されたためです。また、家族療養費や高額療養費といった保険給付費の1人あたり金額が以前よりも増えてきていることもあります。
 平成29年度の赤字分は、前年度の繰越金で賄うことになります。
 現在の傾向が続けば、平成30年度以降も経常赤字となります。

<参考>被保険者1人あたりでみた経常収支予算額の割合(H29年度一般勘定)



3) 平成29年度保健事業

「疾病の予防、早期発見、早期治療を促進し、保険給付費(医療費等)の上昇抑制につなげる！」

平成29年度の重点課題

- 65歳以上の組合員の健康維持による納付金の抑制
- 被扶養者の健診受診率向上
- データヘルス計画の推進(データ分析で課題を明確化、対策実施)
- 健康経営に向けた取り組み(事業主に協力)
- 生活習慣病対策

主な施策

- 「前期高齢者向け電話保健指導」の導入
- 「被扶養者健診制度」の利用促進
- 特定健診データ、医療費データの分析活用
効果的な保健事業の推進、事業主との課題共有につなげる
- 生活習慣病高リスク者に対する個別情報の提供など
「エクササイズキャンペーン」に目標達成インセンティブを導入

以上